

通号 221

vol. 60-2



公益社団法人

大分県薬剤師会

# おおいた 県薬会報

Journal of  
The Oita  
Pharmaceutical  
Association

一般公開版

4

2026  
APRIL



ふるみん

日本薬剤師会  
公式キャラクター  
猿バージョン

Point of View [視点]

OTC類似薬の議論から考える  
薬剤師の役割

理事 菊池 幸助

# 視点

## OTC類似薬の議論から考える 薬剤師の役割

理事 菊池 幸助



大分県薬剤師会の理事の菊池です。このたび、「視点」に初めて寄稿させていただきます。今回は、OTC類似薬の議論を通して、薬剤師の役割について考えてみたいと思います。

近年、湿布や胃薬、点眼薬、ビタミン剤など、いわゆる「OTC類似薬」を保険給付の対象から外すべきではないかという議論が、厚生労働省を中心に続いています。背景には医療費の増大と財政負担の問題があり、国の視点に立てば一定の合理性があると言えます。一方で、患者の視点に立てば自己負担の増加という現実的な問題があり、医療機関の視点からは受診行動の変化や受療控えも懸念されます。では、この議論を薬剤師はどのような視点で捉えるべきでしょうか。

OTC類似薬の保険外しは、単なる医療費削減策にとどまらないと感じています。それは、「セルフメディケーションを誰が、どのように支えるのか」という問いを、社会全体に突きつけているのではないのでしょうか。これまで保険診療の中で処方され、医療者の関与のもとで使用されてきた薬剤が、生活者自身の選択に委ねられる場面が増えるということは、薬の選択・使用・継続を支える専門職の存在が、これまでに以上に重要になることを意味しています。

薬局はOTC医薬品を販売する場所であると同時に、生活に寄り添う医療の最前線でもあります。しかし現実には、OTCの相談は「販売」に重きが置かれ、「伴走」という視点が十分に共有されているとは言えないのではないのでしょうか。症状に合う製品を提示することはできても、その人の生活背景、既往歴、服薬状況、栄養状態、さらには受診の必要性まで踏み込んだ関わりができていないかと問われると、決して十分とは言えないと感じます。

OTC類似薬の議論は、薬剤師に対し「販売者」ではなく、「生活者の健康管理を支える専門職」としての役割を改めて問い直しています。処方箋がなくても薬が選ばれる時代に、薬剤師が関わる意味とは何でしょうか。むしろ医療の枠組

みの外でこそ、薬剤師の真価が発揮される場面が増えていくのではないのでしょうか。

例えば、湿布一つを選ぶ場面でも、単に疼痛の部位を確認するだけでなく、慢性的な運動不足や筋力低下、転倒歴の有無といった生活背景に目を向けることができれば、OTCの選択は「その場しのぎ」から「生活改善の入口」へと変わります。胃薬の相談においても、食事内容や食事時間、ストレス、睡眠といった生活習慣に目を向けることで、薬の提案は生活指導へと自然につながります。点眼薬やビタミン剤についても同様であり、そこには必ず生活との接点があります。

これは、処方箋応需の中で培ってきた薬剤師の観察力や対話力が、OTCの場面でこそ活かされることを示しているのではないのでしょうか。OTCを扱うことは単なる販売行為ではなく、生活に医療を届ける行為であるという視点が求められています。

さらに、OTC類似薬の保険外しが進めば、「受診すべきかどうか」を判断する役割も薬剤師に求められるようになります。生活者が医療機関にかかる前の段階で、適切に受診勧奨ができる存在として、薬局の役割はより明確になっていくと考えられます。

この変化を脅威と捉えるのではなく、専門性を発揮する機会と捉え直すことが、これからの薬剤師に求められる視点ではないのでしょうか。OTC類似薬の議論は、薬剤師の役割を縮小させるものではなく、むしろ薬剤師の存在意義を社会に示す好機であると捉えることもできます。

処方箋の内側だけでなく、生活の中に目を向けること。OTC類似薬の議論は、私たちにその視点の転換を静かに求めているように感じています。

## 視点

OTC類似薬の議論から考える薬剤師の役割 理事 菊池 幸助

## 特集

第31回大分県薬剤師学術大会報告 薬学生涯教育委員会 委員長 松本 康弘

## 活動報告

心電図測定事業  
心電図イベント（2/1別大ウォーク、3/8脈の日）報告  
たかだ調剤薬局 是永 仁司

## シリーズ 薬剤師確保事業

薬剤師の魅力発信イベント～「薬剤師のひみつ」の開催結果について～  
O・P・A薬局 田村 賢一  
薬剤師確保対策事業について（その3） 大分県福祉保健部 荒金真理子

## お知らせ

薬剤師会の運営する薬剤師求人サイト「ファーマファインドJOB」  
薬剤師で再就職してみませんか？

## 地域・職域薬剤師会だより

大分市薬剤師会  
大分県のおしごと本2025発行記念贈呈式 企画参加報告  
理事 荘司 晃寿

豊後大野市薬剤師会  
スポーツの日は健康もチェック 軸丸 直美  
地域薬剤師の育成と活躍に思う 会長 前原 理佳

佐伯市薬剤師会  
地域における「お薬出前講座」の取り組み 宮明洋一郎

検査センターだより



## 次第

10:00～10:10 開会挨拶  
大分県薬剤師会 会長 中芝 高彦  
大分県病院薬剤師会 会長 菅田 哲治

10:10～11:40 座長：松本 康弘（ワタナベ薬局上宮永店）

特別講演

### 『薬局を地域のソーシャルキャピタルに： COMPASS研究の結果から』

講師：京都大学大学院医学研究科社会健康医学系専攻予防医療学分野  
特定教授 岡田 浩 先生

12:00～13:00 休 憩

会員発表

13:00～14:15

Aグループ 座長：中島 輝久（キムラ薬局亀川店）

- A-1 健康教室を活用した高齢者の熱中症予防の意識調査と啓発  
○田村 賢一  
大分県薬剤師会会館 O・P・A薬局
- A-2 エンシュア・H投与によりeGFR低下が疑われた一症例  
○安部 憲廣<sup>1)</sup>、肥川 良子<sup>2)</sup>、下川 要二<sup>3)</sup>  
1) 東中の島調剤薬局、2) 下川薬局 長島店、3) (株)下川薬局
- A-3 ニューモシスチス肺炎予防におけるST合剤長期期間投与が、*E.coli*感受性に与える  
影響と外来尿路感染症の再考  
○丹生 淳也、遠山 泰崇、井上 真  
大分岡病院
- A-4 シスタチンCを用いた腎機能再評価を提案し抗菌薬治療に介入した脊椎周囲膿瘍の一症例  
○塚本 創士、山田 菜緒、末延 道太、佐藤 史織、陸丸 幹男  
大分市医師会立アルメイダ病院 薬剤部

## Bグループ

座長：山田 雅也（大分三愛メディカルセンター）

- B-1 大分市佐賀関大規模火災における災害薬事支援報告  
ーモバイルファーマシーとICTツールを活用した初動・中長期支援の検証ー  
○荻本 恭子、後藤 絵美、幸 徹、河北 竜太郎、財津 広樹、堀田 克行、  
高橋 翔太、河村 聡志、山村 亮太、佐藤 史織、都留 君佳、尾崎 仁美、  
矢野 由起、須藤 エミ、小路 晃平、谷池 仁志、堀 哲朗、荘司 晃寿、  
伊藤 裕子、脇田 佳幸、中芝 高彦  
公益社団法人大分県薬剤師会 災害対策委員会
- B-2 大分市教育委員会と「学校薬剤師が行う薬物乱用防止教育の手引き」を共同作成した  
取り組みに関する続報  
○松尾 成真、藤原 絵美、奥野 加奈子、岡田 美佐子、工藤 一代、荘司 晃寿、  
伊藤 裕子、阿部 みどり  
公益社団法人大分市薬剤師会 学校・保健委員会
- B-3 ミロガバリンベシル酸塩錠の適正使用推進を目的とした処方アラート導入効果の検証  
○炭本 隆宏、吉川 直樹、龍田 涼佑、田中 遼大、伊東 弘樹  
大分大学医学部附属病院 薬剤部
- B-4 高度るい瘦患者における血清シスタチンC値を用いた腎機能評価と  
1-コンパートメントモデルによるバンコマイシンTDMの1例  
○小林 宇太郎<sup>1)</sup>、佐藤 史織<sup>1)</sup>、福地 聡士<sup>2)</sup>、陸丸 幹男<sup>1)</sup>  
大分市医師会立アルメイダ病院 1) 薬剤部、2) 消化器内科

## Cグループ

座長：菊池 幸助（日出調剤薬局）

- C-1 薬局製剤U.Hクリームを販売した報告  
○都甲 大介、山田 真義、熊 佐代子、宮明 洋一郎、深井 勇次、樋田 梨絵、  
岩本 憲樹、児玉 淳、荘司 晃寿、権藤 慎一郎、伊藤 裕子、友成 朗、  
中芝 高彦  
公益社団法人大分県薬剤師会 薬局委員会
- C-2 「薬剤師のかかりつけ機能強化のための研修シラバス」を指標とした卒後教育の取り組み  
○山田 雅也、神田 秀一郎、古代 晃士、菊池 幸助、中島 輝久、麻生 真由美、  
濱野 峰子、吉川 直樹、麻生 裕子、加納 史也、朝倉 裕輔、近藤 晃嗣、  
松本 康弘、副 守尋、前原 理佳、伊東 弘樹、菅田 哲治、脇田 佳幸、  
中芝 高彦  
公益社団法人大分県薬剤師会 薬学生涯教育委員会

C-3 院内製剤「PAヨード点眼液」の長期安定性試験

○柳井 稜也<sup>1)</sup>、菅田 哲治<sup>1)</sup>、日高 宗明<sup>2)</sup>

1) 西田病院 薬剤部 2) 九州医療科学大学 薬学部

C-4 連携充実加算の取組みについて

○山田 剛<sup>1)</sup>、大塚 英一<sup>1)</sup>、須藤 エミ<sup>2)</sup>、田村 賢一<sup>2)</sup>、伊藤 由華<sup>2)</sup>、  
都甲 大介<sup>2)</sup>、伊東 達也<sup>2)</sup>、嶋崎 みゆき<sup>2)</sup>

1) 大分県立病院 外来化学療法室、 2) 大分県薬剤師会 O・P・A 薬局

14:20～14:50 ポスター発表・質疑応答

14:50～15:00 優秀作品発表・表彰

15:00 閉 会



発表者



会場全体



特別講演講師 岡田 浩先生



脇田副会長



## 大分市佐賀関大規模火災における災害薬事支援報告 —モバイルファーマシーとICTツールを活用した初動・中長期支援の検証—

○荻本 恭子、後藤 絵美、幸 徹、河北 竜太郎、財津 広樹、堀田 克行、  
高橋 翔太、河村 聡志、山村 亮太、佐藤 史織、都留 君佳、尾崎 仁美、  
矢野 由起、須藤 エミ、小路 晃平、谷池 仁志、堀 哲朗、荘司 晃寿、  
伊藤 裕子、脇田 佳幸、中芝 高彦  
公益社団法人大分県薬剤師会 災害対策委員会

### 【目的】

令和7年11月18日に発生した大分市佐賀関大規模火災では、避難所開設に伴う医療・薬事支援体制の迅速化が求められた。本報告では、災害薬事支援活動を整理・検証して、今後の災害時における薬剤師の役割および支援体制の充実について検討することを目的とした。

### 【方法】

発災当日から避難所閉鎖（12月26日）までの支援活動を対象とした。避難所での健康相談内容（薬事トリアージを含む）はヒアリングシートを用いて集計。さらに、Googleツールを導入し、県・市薬剤師会役員および後続の支援薬剤師間で活動内容を共有し、情報の集約化と引継ぎ体制の充実化を目指した。

### 【結果】

11月20日から12月5日までの16日間、避難所に災害支援薬剤師を延べ52名派遣し、日中の常駐支援を行った。相談件数120件の内訳を以下に示す。

- 1) OTC薬対応・・・61件
- 2) 経過観察対応・・・21件
- 3) その他（受診勧奨、医療機器等の相談、常用薬に関して）・・・38件

さらに、行政（大分市保健所、大分県薬務室）と連携したインフルエンザ予防投与（服薬指導およびタミフル<sup>®</sup> 脱カプセルの調剤）や、二酸化炭素濃度測定による避難所環境評価などの公衆衛生支援を実施。

常駐終了後の12月8日以降は、平日日中の電話相談窓口を開設し、中長期的なフォローアップ体制を維持した。

### 【考察】

本事例では、災害薬事コーディネーターの早期介入とモバイルファーマシー（MP）の活用により、自己完結型の迅速な支援が可能となった。薬剤師は医薬品供給に留まらず、感染症対策や環境衛生、精神的ケアといった多面的な役割を果たした。特にGoogleツールの活用は、ヒアリングシートの情報整理や保存に留まらず、薬剤師間の情報伝達手段として大変有用であったと考える。今後は本事例を踏まえ、災害時薬事支援マニュアルおよび備蓄医薬品の見直しと、より実践的な運用体制の充実を目指したい。



## ミロガバリンベシル酸塩錠の適正使用推進を目的とした 処方アラート導入効果の検証

○炭本 隆宏、吉川 直樹、龍田 涼佑、田中 遼大、伊東 弘樹  
大分大学医学部附属病院 薬剤部

### 【背景】

ミロガバリンベシル酸塩はその有効性が示されている一方、用量依存的な中枢神経系の副作用を生じやすく、電子添文では漸増投与および腎機能に基づく用量調整が推奨されている。しかし実臨床では、これらの推奨事項が十分に遵守されていない可能性がある。当院では、2025年1月よりミロガバリンベシル酸塩錠処方時に漸増スケジュールおよび腎機能を考慮した用量設定を促す処方アラートを導入した。本研究では、処方アラート導入前後におけるミロガバリンベシル酸塩錠の処方内容を分析することで、処方アラート導入が医師の処方行動に与える影響を定量的に評価し、ミロガバリンベシル酸塩錠の適正使用推進における介入策としての有用性を明らかにすることを目的とした。

### 【方法】

2024年7月から2025年6月にミロガバリンベシル酸塩錠が処方された患者を対象とした後ろ向き観察研究を実施した。電子添文に従い用量調整および漸増投与されている場合を適正使用と定義し、処方アラート導入前後で①2.5mg錠処方患者における腎機能検査実施率、②腎機能障害患者（クレアチニンクリアランス<60mL/min）における適正使用率、③初回量10mg/日から適切に20mg/日へ増量された処方切替え率を比較した。

### 【結果】

処方アラート導入後、2.5mg錠処方患者における腎機能検査実施率は上昇傾向を示し、特に65歳以上の高齢患者で顕著であった。腎機能障害患者における適正使用率は導入後に有意に改善し、特に高齢患者では2025年4～6月においてその改善が他期間と比較してより顕著であった。また、初回量10mg/日から20mg/日へ適切に増量された処方切替え率は、アラート導入後有意に上昇した。

### 【考察】

ミロガバリンベシル酸塩錠処方時の処方アラート導入は、医師の処方行動を改善し、腎機能評価の実施および適正用量選択を促進した。本介入は既存の電子カルテ機能を活用した低コストかつ汎用性の高い手法であり、ミロガバリンベシル酸塩錠の安全かつ有効な使用を支援する有用な方策であることが示唆された。



## 院内製剤「PAヨード点眼液」の長期安定性試験

○柳井 稜也<sup>1)</sup>、菅田 哲治<sup>1)</sup>、日高 宗明<sup>2)</sup>

1) 西田病院 薬剤部、2) 九州医療科学大学 薬学部

### 【目的】

当院では、眼科領域の消毒薬PAヨード点眼液5倍希釈液の使用期限を、「病院薬局製剤事例集」(日病薬監修、2013.4発行)を参考に、冷所下3か月としていた。しかし、実際の患者宅での保存条件における安定性を調べたデータは少ない。今回、患者宅に近い条件下で長期安定性試験を行い、適正な使用期限について検討した。

### 【方法】

PAヨード点眼液5倍希釈液は、「病院薬局製剤事例集」を参考に調製し、点眼瓶に5mLずつ分注した。保存条件は、①「遮光袋+薬袋」、②「遮光袋のみ」の2種類とし、家庭用冷蔵庫内に保存した。ヨウ素濃度は、調製直後、2週間後、4週間後、以後4週おきに20週間後まで測定した。定量は、日本薬局方のヨウ素定量法(チオ硫酸ナトリウム液による逆滴定)を用いた。ヨウ素残存率は、調製直後のサンプル濃度を基準とした。各条件下1サンプルあたり3回測定を行い、平均値をそのサンプルの値とした(n=3)。評価については、t検定を用いて行った。

### 【結果】

ヨウ素残存率は、保存条件①、②においてそれぞれ、12週目98.05%、97.84%、16週目96.15%、96.09%、20週目94.98%、95.59%であった。

### 【考察】

「安定性試験ガイドライン」(PMDA、2003.6)では、残存率の下限値95%が示されている。①、②それぞれの条件下において、調製後16週目まではヨウ素残存率が平均95%以上を示し、95%信頼区間においても95%以上であった。このことから、調製後16週目までは安定であることが示された。また、①、②を比較したところ、残存率に有意差はなく、遮光袋のみでも安定であることが示唆された。

実際の患者宅での使用を想定した場合、適正な保管方法から逸脱することが予想される。今後、逸脱が想定される保存条件下で短期的な試験(加速試験)を行い、適切な保管方法を評価する予定である。



## 健康教室を活用した高齢者の熱中症予防の意識調査と啓発

○田村 賢一

大分県薬剤師会会館 O・P・A薬局

### 【目的】

熱中症死亡者数は年々増加しており、中でも高齢者の割合が8割以上を占めている。厚生労働省による注意喚起などによって以前より熱中症は危険であるという認識は定着してきているが、正しい予防方法が浸透しているとは言い難い。今回、社会福祉協議会、地域包括支援センターと協働して「薬剤師が伝える高齢者の熱中症予防」というテーマの健康教室を開催し、高齢者の意識調査と啓発を行ったので報告する。

### 【方法】

- ・ 募集方法：  
社会福祉協議会、地域包括支援センターに健康教室のリーフレット及び申込用紙（FAX用）を配布し、地域の各高齢者サロンへ案内を依頼
- ・ 開催時期：令和7年7月～8月
- ・ 開催場所：依頼のあったサロンの地域にある各公民館
- ・ 内容：  
①熱中症と予防3原則について（説明）  
②市販の経口補水液の紹介（試飲）  
③経口補水液の作り方の紹介（実演・試飲）
- ・ 意識調査：教室開始前にQ & A形式で質問を実施、教室終了後にアンケートを実施

### 【結果】

- ・ 開催回数：4回  
開催日：7/10、8/5、8/7、8/26
- ・ 延べ参加人数：98人  
（参加者の内訳：男性6人、女性92人、平均年齢：78.3歳）

### 〔意識調査①〕：

Q & A形式の質問による回答結果（n=98）  
1日の水分摂取回数は厚生労働省推奨の6回以上を80%の方が満たしたが、1日の摂取量は推奨量の1.2Lに満たない1L以下の方が53%だった。普段どのような飲料を飲むか3択で質問したところ、麦茶が72%と最も多く、次いで緑茶18%、コーヒー10%となった。熱中症の症状について、分からないと答えた方は94%だった。

### 〔意識調査②〕：

アンケート結果（n=94、回収率96%）  
内容の理解度について、理解できた82%、概ね理解できた13%、あまり理解できなかった2%、無回答3%となった。興味を持った内容については、熱中症と予防3原則が77%、市販の経口補水液の試飲が70%、経口補水液の作り方が75%となった。予防3原則を実行し、周りの方にも勧めたいと回答した方は90%だった。自由記載のご意見では、経口補水液を初めて飲んだけど意外と飲みやすかった、習った経口補水液を作りたい、家族に伝えたいなどの前向きな意見が多かった。

### 【考察】

1日の水分摂取量は過半数が不足しており、カフェインを多く含む飲料を飲む方もいたので、正しい水分摂取の方法について、水や麦茶などカフェインを含まないものをコップで6杯以上など具体的に指導する必要がある。熱中症の症状は、9割以上が正しく理解できておらず、熱中症になっても認識できずに対処が遅れて重症化する可能性が示唆された。健康教室は、正しい知識の普及・啓発に効果的であった。今後も熱中症予防や地域のニーズにあったテーマの健康教室を実施し、地域住民の健康をサポートしたい。

### 心電図イベント（2/1別大ウォーク、3/8脈の日）報告

たかだ調剤薬局 是永 仁司

（豊後高田市薬剤師会）

心房細動を知っていますか？この質問を心電図イベントで何度も問いかけた。名前は知っているが、どのような病気が詳しく知らない人がほとんどだった。

心房細動は心不全や脳梗塞の大きな要因の一つである。心房細動を発症すると血栓のリスクが高まり、その血栓が血流によって脳に運ばれ血管を塞ぐと脳梗塞になるといわれている。心房細動の人はそうでない人に比べ脳梗塞発症のリスクが約5倍高くなるというデータも確認されている。

「令和6年（2024年）人口動態統計月報年計（概数）」（厚生労働省）によると、脳血管疾患による死亡者数は死因の第4位で全死亡者に占める割合は6.4%となっている。（脳血管疾患10万2,808人、死亡率（人口10万対）85.5）それにもかかわらず、多くの日本国民は心房細動の病態やリスクは把握できていないのが現状だ。

65歳未満の約2%、65歳以上の9%以上が心房細動の症状を持つとされているが、症状が出て病院で診断される人はごく一部（全患者の約10~40%は無症状）で、大半の患者は自覚症状がないまま見過ごされている。いかに気軽に頻度よく調べられるかが重要だろう。

今回、オムロンヘルスケアの日本初となる心電計付き上腕式血圧計「HCR-7800T」を用いて、心電図イベントを行った。薬局でも置いている簡易の心電図測定機だ。

薬剤師会が主催で去年から始まった心電図イベント。2年目となり、1年目の経験からよりブラッシュアップされたイベントになった。

2/1の別大ウォークは県内外でも広く知られるマラソン大会の派生イベントで、2,500人もの参加者が田ノ浦ビーチに集まった。我々のブースにも、ウォークの前後に384人が参加してくれた。

別大ウォークは老若男女が参加するイベントで、多くは健康に意識が高い人たちばかりだが、やはり心房細動については知らない人が多かった。検査に参加してくれた年代は40~60代が多く、健康への意識が強い年代と考えられる。多くの人が『（心房細動のことは）よく知らなかった』と言い『結果が良くて安心した』と喜んでくれていたことは、素直にうれしく思う。

恐ろしいのは、11人が異常値を示す結果、そのうち2人が『心房細動の可能性』の判定が出たことだ。昨年も345人中13人（3.77%）に異常な脈が検出され、そのうち6人（1.74%）

に『心房細動の可能性』が出ており、かなりの人数がリスクを孕んでいることが分かる。

我々にできるのは診断ではなく、受診勧告やリスクの説明に限られるが、それを伝えることができた人がいたことは、大きな成果と考えている。

3/8の脈の日は、『3/9、脈の日』を記念しての健康イベントだ。iichiko総合文化センターで行われ、このイベントにも大分県で働く薬剤師の先生方20人が参加し、イベント運営に協力してくれた。

こちらのイベントではベジチェック（野菜摂取量検査）、骨密度検査、血管年齢検査、体脂肪率検査（子供向け）なども一緒に行い、スタンブラリー形式としたことで、多くの子供連れの方が楽しんで参加してくれた。メインは心電図検査だが、それ以外の健康意識も高める良いイベントになったと思う。

此方は別大ウォークと異なり、20代以外の年齢層がほぼ同じ割合で参加してくれていた。（20代は健康な為か参加割合が少ない）182人が検査してくれ、異常が見つかったのが15人（8.2%）、そのうち『心房細動の可能性』と判定されたのが6人（3.3%）で、此方も多くの人がリスクを孕んでいることが伺えた。

この2日間の心電図イベントでは、病院に行かなくても、検診を受けなくても、気軽に心不全のチェックができること、そして心房細動がどのような病気であることを、多くの人に伝えることができた。実際、2~3%の割合で心房細動のリスクが見つかったこともあり、早期診断や早期治療で救われる命が出てくる可能性も体感できた。

本来は病院で行う心電図16波形をしなくとも、心電図測定を『薬局で受けられる』ということは、薬局がいかに普段の健康相談に活かせる重要拠点になりうるかも示唆している。

製品単独で医療機器としての診断はできないが、心房細動の可能性を発見し、医師に波形を見せることなどで診断に役立てられるこの機械。薬局薬剤師におけるアスクレピオスの杖（神話に登場する名医アスクレピオス（アスクレピオス）の持っていた蛇（クスシヘビ）の巻きついた杖。医療・医術の象徴として世界的に広く用いられているシンボル）になりうるのではないかと

薬剤師の未来に期待が膨れる2日間であった。

2 / 1 (日) 別大ウォーク



測定結果まとめ

年齢

～10代未満	3	0.8%
10代	13	3.4%
20代	14	3.6%
30代	24	6.3%
40代	62	16.1%
50代	123	32.0%
60代	106	27.6%
70代	36	9.4%
80代	2	0.5%
90代以上	0	0.0%
無記入	1	0.3%
合計	384	100.0%

性別

男性	86	22.4%
女性	264	68.8%
その他	0	0.0%
無記入	34	8.9%
合計	384	100.0%

測定結果

正常な洞調律	361	94.0%
徐脈	1	0.3%
頻脈	8	2.1%
心房細動の疑い	2	0.5%
分類できません	11	2.9%
解析できません	1	0.3%
無記入	0	0.0%
合計	384	100.0%

3 / 8 (日) 脈の日イベント



受付・くじ引きブース



心電図測定ブース



野菜摂取量測定ブース



児童向け体内脂肪測定ブース



骨の健康チェックブース



血管年齢測定ブース

測定結果まとめ

年齢

～10代未満	24	13.2%
10代	23	12.6%
20代	9	4.9%
30代	30	16.5%
40代	28	15.4%
50代	20	11.0%
60代	22	12.1%
70代	17	9.3%
80代	9	4.9%
90代以上	0	0.0%
無記入	0	0.0%
合計	182	100.0%

性別

男性	57	31.3%
女性	101	55.5%
その他	0	0.0%
無記入	24	13.2%
合計	182	100.0%

測定結果

正常な洞調律	166	91.2%
徐脈	0	0.0%
頻脈	3	1.6%
心房細動の疑い	6	3.3%
分類できません	6	3.3%
解析できません	1	0.5%
無記入	0	0.0%
合計	182	100.0%



## 薬剤師の魅力発信イベント ～「薬剤師のひみつ」の開催結果について～

O・P・A薬局 田村 賢一  
(大分市薬剤師会)

会員の皆様にはいつも大変お世話になっております。薬剤師を目指す学生を増やすことを目的に、大分県薬務室主催、当薬剤師会協力のもと、中高生を対象とした薬剤師の魅力発信イベント「薬剤師のひみつ」が開催されました。私自身は現役薬剤師の立場から導入の講話及びグループワークの一部を担当したので、その模様を報告させていただきます。

- 日時：**令和8年1月11日（日）10:00～12:45  
**場所：**大分県薬剤師会館 3F 研修ホール、2F 会議室、  
O・P・A薬局、検査センター、モバイルファーマシー  
**内容：**(1) 講演会  
①現役薬学生の講話「私の薬学部受験対策とキャンパスライフ」 20分  
②薬剤師の講話「薬剤師の魅力とは」 30分  
(2) グループワーク（5班に分かれてローテーション）  
①調剤体験 30分  
②O・P・A薬局見学 15分  
③検査センター見学 15分  
④モバイルファーマシー見学 15分  
⑤若手薬剤師、現役薬学生との座談会 15分  
**参加者：**学生35名（うち中学生15名、高校生20名）、保護者8名  
**配布物：**薬剤師お仕事紹介パンフレット  
おんせん県おおいた おもてなしバッジ  
お薬手帳（薬屋のひとりごと）  
温泉本（温泉の顔、飲泉スポット30）  
**協力者：**会員の薬剤師の先生方  
**協賛：**株式会社タカゾノ（分包機2台提供あり）

### (1) 講演会（県薬会館 3F 研修ホール）

講演会では、初めに九州大学薬学部の現役薬学生の佐藤ひなたさんから講話がありました。高校時代の過ごし方、受験対策、大学生活などについて、具体的な例を用いて説明されました。参加者の中高生にとって年齢の近い佐藤さんの話はイメージしやすく非常に参考になったと思われま

次に現役薬剤師として、恥ずかしながら私が精一杯お話をさせていただきました。①薬剤師の将来性、やりがい、楽しさ②薬剤師の様々な職場を紹介③高校時代の自分に伝えたい進路選びのコツの3つについて説明し、特に「医療系国家資格の強み」「薬物療法に関する安全管理の最後の砦」「健康全般の相談に乗れるジェネラリスト」など、薬剤師の魅力や責任について、思いを込めてお伝えしました。

## (2) グループワーク

講演会終了後、参加者は5班に分かれて以下の5つのグループワークを行いました。5つの会場それぞれに担当する薬剤師の先生や事務局職員を配置し、薬務室職員が学生（保護者含む）を引率して回り、参加者が「見て・聞いて・体験する」ことで楽しく薬剤師の仕事を学べるように工夫しました。

### ①調剤体験（県薬会館 2F 会議室）

担当：是永 仁司先生、工藤 晋一先生、仲矢 侑希子先生

分包機2台、調剤台を設置した調剤ブースを特設しました。そこで参加者は白衣を着用し、仮処方箋に基づき、「一包化」と「軟膏練り」の2つの調剤を体験しました。仮処方箋は8パターン用意し、一包化は実際の錠剤（期限切れ）を用い、難易度を上げるために半錠が必要となる内容にしました。軟膏練りはデンプンのり50gと食紅0.1gを混ぜる内容にし、ヘラと軟膏板を用いて混合して軟膏壺に詰めるところまで体験しました。実践的な内容だったので、速さと正確さが求められる現場の緊張感を肌で感じながら最後まで真剣な眼差しで取り組んでいました。



### ②O・P・A薬局見学 担当：田村（筆者）

自動ピッキングマシン（Drug Station「以下、DS」）による薬剤払い出しと一包化監査支援システム（PROOFIT）による一包化監査（朝10錠、昼2錠、夕4錠）を見学してもらいました。

DSについては、大きさと金額に驚いていましたが、導入で約2人分の労働力が担保され、患者待ち時間の大幅な短縮に繋がったことなどを伝えたところ納得していました。また、PROOFITの一包化監査については、各班の学生の一人に同じ内容の一包化監査を通常どおり実施してもらい、人間と機械どちらが速くて正確かを競ってもらいました。学生VS機械の結果は、7日分の一包化で日数が少なかったこともあってか、4勝1敗で学生に軍配が上がりました。ただし、日数が長くなると機械が判定している間に他の作業を行えることや監査記録が残るので保障を兼ねることなど、速さだけでは語れない他のメリットがあることを伝えて機械化の良さを実感してもらいました。



## ③検査センター見学

担当：久寿米木 洋子副所長  
外センター職員

薬学部に進学すると、公衆衛生について学ぶカリキュラムもあります。人々の健康を医薬品だけでなく、水や食品など生活環境といった側面から支える仕事として、検査センターを紹介しました。講話でも紹介しましたが、薬剤師の業務として、病院や薬局だけではないことを知ってもらい機会になったと思います。また、アンケートで「一番印象に残った」と回答した高校生がいたことがとても嬉しく感じました。



## ④モバイルファーマシー見学

(県薬会館駐車場に配置) 担当：事務局職員

災害時に機動力を発揮するモバイルファーマシーの展示では、その特殊な設備に驚きの声が上がりました。「どんな場所でも医療を届ける」という薬剤師の使命感を、視覚的に強く印象付けることができました。また、薬剤師として被災者に医薬品を適切に供給することはもちろんのこと、公衆衛生の確保という役割があることを伝えることができました。



## ⑤座談会 (県薬会館 3F 研修ホール)

担当：小路 由季先生、原口 悠平先生

対話ブースでは、仕事のやりがいから進路の悩みまで、リラックスした雰囲気での交流が行われました。現場の生の声に触れることで、学生たちは薬剤師という仕事をより身近な将来の選択肢として捉え直したのではないのでしょうか。

以上、5カ所を1時間30分の時間内に回って終了です。最後に県薬会館3階に戻ってアンケートを記入し、全員で記念撮影を実施してイベントを終了しました。

今回のイベントは、薬剤師の職域がいかに広く、社会から必要とされているかを次世代に伝える貴重な機会となりました。私は薬剤師としてまだまだ若輩者で、講師の依頼を受けた時に「えっ…」と思ってしまったのが正直な気持ちでしたが、2歳弱になる娘がいるので、将来、もし薬剤師になりたいと娘から言われたら自信をもって勧められるような薬剤師になれるよう日々精進したいと感じました。

最後になりますが、運営にご協力いただいた薬剤師の先生方、関係各位、ならびに貴重な機会を与えてくださった薬務室の皆様には厚く御礼申し上げます。

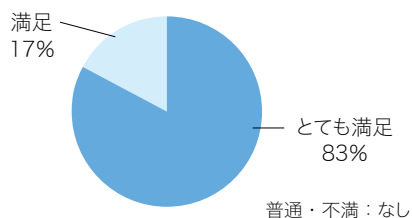


以下、学生のアンケート結果を紹介させていただきます。

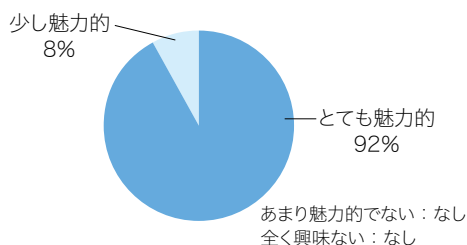
### 【中学生】

n = 12

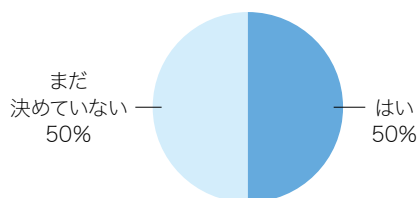
#### 1 満足度は？



#### 2 薬剤師の仕事、どう感じた？



#### 3 薬剤師になろうと思う？



#### 4 イベントの感想

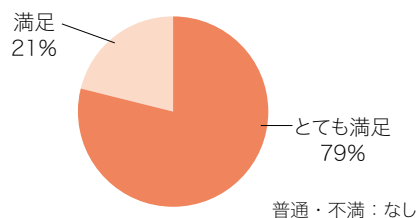
##### 【中学生】

- ・実際の薬を用いた調剤体験や最新機器の見学など、今までで最も本格的な体験でした
- ・モバイルファーマシーの設備は充実していて、とても良い取り組みだと感じました
- ・現役薬学生や薬剤師の話を聞くこともでき、実際に体験などもすることができ、すごく良い機会になりました
- ・疑問に思っていたことが現役の人たちに聞くことができ、すごく参考になりました
- ・体験が楽しかったです。もっと薬剤師になりたい思いが強くなりました

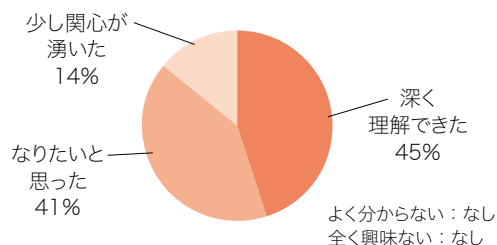
### 【高校生】

n = 19

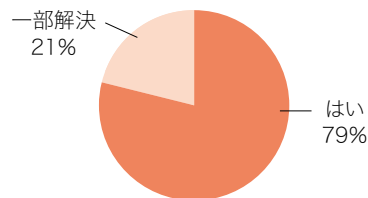
#### 1 満足度は？



#### 2 薬学部、薬剤師、どう感じた？



#### 3 知りたかったことは解決した？



##### 【高校生】

- ・現役の学生さんの話を聞いて、受験対策にすごく役立つ情報が聞けて良かったです
- ・調剤体験やいろんな機器を見ることができてとても良い体験になりました
- ・座談会やお話を聞いて薬剤師についてさらに理解を深めることができました
- ・薬剤師の仕事、やりがい、働き方について詳しく知れて薬剤師になりたいと思えました
- ・より深く薬剤師について学ぶことができ、薬剤師を目指したいと思いました

## 薬剤師確保対策事業について (その3)

大分県福祉保健部 荒金 真理子  
(大分県行政薬剤師会)

会員の皆様方におかれましては、日々、ご多忙の中、薬務行政の推進にご協力いただきありがとうございます。

このシリーズは今回で3回目となりますが、新たにスタートしたメニューも多かった令和7年度の薬剤師確保対策事業を振り返りたいと思います。

まず、新たに県内の病院に就職した薬剤師が、最長6年、最大年間80万円の支援が受けられる奨学金返還支援事業です。病院薬剤師会の先生皆様方のご協力で、各大学の学生さんに向けてこちらの制度の周知を行うことができました。深く感謝申し上げます。

前にもご案内したとおり、当該制度を活用しますと病院ごとの研修プログラムで研鑽を積み、薬剤師としての専門性を高めることもできます。令和8年度もこの制度は継続いたしますので、県内病院への就職を希望し、かつ、奨学金の返還を行っている薬学生及び薬剤師がいらっしゃいましたら、ぜひ薬務室までご一報願います。

また、薬学生を対象とした修学資金貸与については、貸与を希望する多くの学生さんの中から、7年度の貸与対象者5名(病院コース4名、行政コース1名)を決定することができました。

令和8年度以降も、新たに薬学部に進学した学生さんに貸与を行います。貸与対象者の人数を増やす予定としております。つきましては、将来、薬剤師になることを視野に入れている中高生の生徒さんが周りにいらっしゃいましたら、ぜひこの制度についてお伝えいただくようよろしくお願いいたします。

さらに昨年度は、別添のとおり様々なイベントを開催し非常に多くの皆様にご参加いただきました。

1月には、薬剤師会館で中高生向けの薬剤師

お仕事紹介イベント、「薬剤師のひみつ」を初めて開催いたしました。雪が舞う極寒の中、中高生総勢35名もの皆様にご参加いただきました。薬局の見学や薬学生による大学受験対策の講話、現役の薬剤師の講話など非常に盛沢山の内容でしたが、本物の薬を使用した調剤体験が特に印象的だったとの声を多く聞かれました。薬学部進学率九州最下位の大分県ですが、一人でも多くの生徒さんが薬学部に進学してくれば、と願っているところです。

2月には、薬学生対象の南部地区も含めた病院薬局見学ツアー及び就職フェア(薬局編)が開催されました。

見学を受け入れてくださった病院や薬局の先生方及び就職フェアにご参加いただいた先生方をはじめ、このイベントにご協力いただいた全ての県薬会員の皆様方に、この場を借りて感謝申し上げます。

先生方の見学ツアーや就職フェアでの趣向を凝らした現場の説明やプレゼンは、参加した学生が自身のキャリアを具体的に描くうえで、非常に貴重な機会となったに違いありません。これらのイベントをきっかけにご縁がつながり、多くの学生さんが大分県で薬剤師として活躍することを期待しているところです。

昨年度はこのような大変多くの皆様方の多大なるご支援、ご協力をいただきながら、何とか事業を実施することができました。

これらの事業の目に見える成果は、すぐにはわからないものがほとんどではありますが、今年度は更に中身を充実させた確保対策を展開していきたいと考えております。

皆様方には昨年度同様、これらの事業について周知をはじめとする全面的なご支援、ご協力を賜りますよう何卒よろしくお願いいたします。

## 薬剤師確保対策イベント概要（令和8年2月時点）

※赤字が今年度の参加人数

イベント名	日程	内容・実績等			
病院見学ツアー (R4年度～)	8/7-8	県内病院の魅力を伝えるために、1.5日の日程で県内3つの病院を見学できるツアーを開催。			
		年度	R5	R6	<b>R7</b>
		参加人数	台風のため中止	9人	<b>22人</b>
病院就職フェア（新）	8/7	県内病院の魅力を伝える機会や情報交換ができる場として就職フェアを開催。 <b>&lt;参加人数&gt; 薬学生：20人 病院：21施設（35人）</b>			
薬剤師のシゴト見学ツアー @豊肥地区（新）	8/19	県内でも特に薬剤師の偏在指標の低い豊肥地区の高校生に対し、地域の病院及び薬局に勤務する薬剤師の業務や職場に触れる機会を提供し、薬剤師という職業の魅力を伝える。 <b>&lt;参加人数&gt; 竹田高校 11人</b>			
薬剤師のシゴト体験ツアー @西部地区（新）	10/9	同上（偏在指標の低い西部地区） <b>&lt;参加人数&gt; 日田高校 10人</b>			
県内就業促進イベント 「コネクトOita」 (R3年度～)	11/8	大分県出身の薬学生が最も多い福岡県において、薬学生と県内で活躍する薬剤師が交流できるイベントを開催。			
		年度	R5	R6	<b>R7</b>
		開催方法	対面	対面+web（2回開催） web（2回開催）	<b>対面 +web</b>
		参加人数	4人	47人	<b>41人</b>
薬剤師魅力発信イベント 「薬剤師のひみつ」（新）	1/11	中高生に薬剤師という職業の魅力を伝え、将来的な進路の選択肢として薬剤師を考えるきっかけを提供するイベントを開催。 <b>&lt;参加人数&gt; 中学生：15人 高校生：20人</b>			
病院薬局見学ツアー (R6年度～)	2/12-13	県内病院・薬局の魅力を伝えるために、1.5日の日程で県内複数の病院・薬局を見学できるツアーを開始。			
		年度	R6	<b>R7</b>	
		参加人数	4人	<b>13人</b>	
薬局就職フェア（新）	2/12	県内薬局の魅力を伝える機会や情報交換ができる場として就職フェアを開催。 <b>&lt;参加人数&gt; 薬学生：13人 薬局：14施設（24人）</b>			



薬剤師のシゴト見学ツアー（薬局）



薬剤師のシゴト見学ツアー（病院）

## 「薬剤師が薬局をさがす」ニックネームで登録OK! 「薬局が薬剤師をさがす」

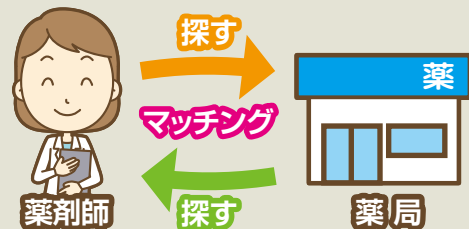
# 薬剤師会の運営する薬剤師求人サイト ファーマファインドJOB

薬剤師会の運営する薬剤師求人サイトです。登録費用・成功報酬も一切かかりません。

WEBアドレス <https://www.pharmafind.jp/job>

ファーマファインドJOB

検索



登録費用  
成功報酬

0円 [無料]



そんな心配を  
**解消**  
しかも簡単 **3**ステップ

STEP1

ご登録/承認

PC、タブレット、スマートフォンに対応!  
必要事項の入力後、承認メールが届いたらすぐにご利用可能です。

STEP2

マッチング

希望条件にマッチした求人・求職情報が一覧形式で確認できるだけでなく、  
定期的にお知らせメールを受け取ることも出来ます。

STEP3

応募/スカウト

メッセージ機能で求人者・求職者の応募、スカウトなど、  
やりとりがスムーズに行えます。

面接

就職成功



## 「ファーマファインドJOB」とは

平成15年（2003年）に、九州ブロックの薬剤師会において構築された無料の求人Webサイトです。簡易情報は求職登録せずに閲覧できますが、詳細情報は、求職情報フォームにて登録を行い、登録先紹介所（大分県薬剤師会 薬剤師無料職業紹介所：大分県薬内設置）にて承認されたのち、閲覧用のログイン名・パスワードがメールにて配信されます。

- ・求職登録期間は最長6か月
- ・登録更新（継続）は再度Webにて登録する

### よくある質問（ファーマファインドJOB Webサイトより）

- Q. 求人検索をするのに登録は必要ですか？
- A. 登録がなくても、簡単な検索サービスをご利用いただけます。  
ただし、求人に「応募」する際には、登録が必要となります。
- Q. 求人/求職登録はどのように行えばよいのでしょうか？
- A. 求人/求職登録につきましては以下の手順で行えます。
- 1) TOP画面にて「求人申し込み」または「求職申し込み」をクリック
  - 2) 「業務の運営と個人情報に関する規程」にて申込み県薬を選択後、同意するボタンをクリック
  - 3) 「求人/求職登録」にて必要事項を入力後、登録ボタンをクリック
  - 4) 登録内容が承認されましたら、ご登録EメールアドレスにログインIDとパスワードが記載された承認メールが届きます
- Q. 登録をすると何ができるようになるのですか？
- A. 次の各サービスを無料でご利用いただけます。
- 1) プロフィールの登録で自動マッチング ⇒プロフィールを登録しておくことで、希望にマッチしたスカウト情報が届くかも。
  - 2) メッセージ機能 ⇒メッセージ機能を利用すると、求人薬局と直接やり取りが可能です。
  - 3) ニックネームでの問い合わせ ⇒意中の薬局に対して、匿名（ニックネーム）での問い合わせが可能です。

## 大分県薬剤師会女性部会からのお知らせ

女性部会は、復職希望の薬剤師向けに「復職支援マニュアル」を作成しました。薬剤師として、復職や就職を希望される方がいましたら、大分県薬剤師会へご連絡をお願いします。実習等のご相談に応じ、復職への支援を行います。



薬剤師で  
再就職  
してみませんか？



未経験者の方  
歓迎します！



次のような方の薬剤師としての就業を支援します

- 📄 調剤経験はあるものの、何年間かブランクがある方
- 📄 会社や行政関係に勤務し、調剤経験が無いか乏しい方

## 支援内容

- 面談して、希望をお聞きします。
- 個人ごとのプログラムを作成します。
- 実際の調剤実習は会営薬局のO・P・A(オーピーエー)薬局を中心にし、必要に応じて他の調剤薬局や病院でも実施します。

薬剤師として就業を希望する方、将来的に考えている方はまず、大分県薬剤師会の事務局までお電話ください。折り返し、申込書を送付あるいは送信します。

公益社団法人 **まずはご相談ください**

**大分県薬剤師会 事務局**



TEL(097)544-4405 FAX(097)544-1051

## 大分市薬剤師会

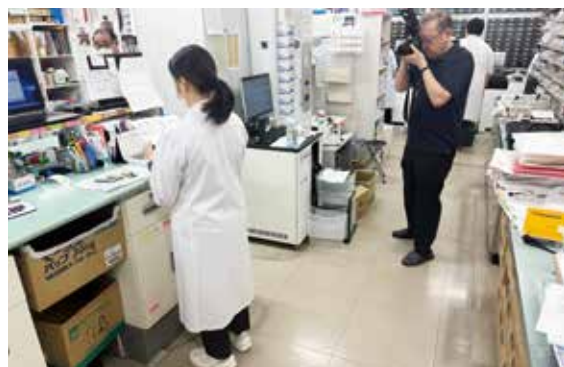
# 大分県のおしごと本2025発行記念贈呈式 企画参加報告

理事 莊司 晃寿  
(株式会社ブンゴヤ薬局)

**書籍名：**大分県のおしごと本2025  
**発行所：**TOSテレビ大分、株式会社アドヴァイス  
**発行部数：**13,000部程度（全て非売品）  
**仕様：**A4フルカラー印刷・無線綴じ  
**配布対象：**県内の全ての小学5年生（約1万人）、  
小学校、図書館、教育関連施設等  
**協賛企業団体数：**35  
**取材日：**令和7年9月5日（金）9:00~10:00、11:00~12:00  
**取材場所：**O・P・A薬局、大分大学医学部附属病院薬剤部

昨年10月23日、県内35の企業や団体の仕事内容が掲載された“大分県のおしごと本2025”の発行を記念した贈呈式が県庁で行われ、大分県教育委員会の賛同と呼びかけのもと、この教材本が順次、県内全ての小学校に届けられたというニュースをご存じでしょうか。実は、今回この教材本に大分県薬剤師会（以下、県薬という）と大分市薬剤師会（以下、大分市薬という）の連名で参加し、初めて“薬剤師の仕事”を掲載しました。この企画に参加した経緯や製作について、会員の皆さんに報告します。

はじめに、この「大分県のおしごと本」とは、2020年に始まり、毎年TOSなどが共同発行している冊子で、“地域で働く人たちの仕事を知る教材”として、県内企業等取材し制作されているものです。配布は無償となっており、その対象は県内の小学5年生全員（約1万人）、全ての小学校や図書館等となっており、教材や郷土資料として活用されています。子どもたちに仕事を学んでもらい将来の希望に繋げてもらうことに加え、訪問先を選定する先生や保護者に地元企業の情報収集に役立ててもらおうことを



目的とした企画となっています。配布対象を小学5年生としている理由は、5年生の時期は慣例として「社会見学」として企業訪問をするなど仕事をより身近に感じる時期であり、10歳という節目の年を迎え、将来の夢や目標をより具体的に描き始める時期であるためです。『本を使った社会見学』として好評を得ており、大分県を皮切りに、現在は、宮崎県、鹿児島県、長崎県、石川県、福井県、福島県、岡山県、香川県など九州を飛び越え全国各地で同企画が実施されています。

次に、今回の経緯についてです。この発端は、大分市薬が協賛し昨年5月中旬に開催された“Out of KidZania in おおいた2025”を視察していたTOS関係者から、是非ともTOSの企画にも出ていただきたいと代理店を通じて大分市薬に熱烈オファーがあったことです。かねてより大分市薬では「メディアミックスによる薬剤師・薬局の見せる化」を公益目的事業の柱に掲げ、特に若者やこども向けの発信を積極的に推進していたこともあり、すぐに企画参加が承認されました。そして、製作については“Out of KidZania in おおいた2025”に中心となって取り組んだメンバーが行うこととなりました。

一方で、今回の製作する教材本は、全県下の小学生に配布されるため、大分市薬ではなく県薬で受けてもらった方が適切ではないかという意見もでました。県薬に相談したところ、製作については大分市薬でお願いしたいこと、内容として行政や検査センターの薬剤師にも触れて欲しいこと、費用は県薬と大分市薬で折半するとい

う有難い条件を頂きました。そのため、今回の記事は、県薬と大分市薬の連名となっています。

さて、今回の主な読者は小学校高学年です。読者にとって一番身近な薬剤師だと想定される“薬剤師の仕事”を紹介することがよりよいイメージに繋がるものと考えました。つまりは、「薬局の薬剤師」と「病院の薬剤師」に焦点を絞った記事を構想し、取材場所としてO・P・A薬局と大分大学医学部附属病院（以下、大学病院という）を選定しました。県薬のリクエストなどに代表される他の紹介すべきすばらしい“薬剤師の仕事”についても多く触れたいところでしたが、見開き2ページという限られたスペースだったため、小学生が理解しやすい、できるだけシンプルな表現となる記事を目指しました。

今回、私の他に製作の中心となった大分市薬のメンバーは以下の通りです。

氏名	所属
陸丸 晶子	みどり調剤薬局
藤原 拓司	あき調剤薬局
津下 遥香	大分大学医学部附属病院薬剤部
久保 雅照	ひなざく薬局
前田 裕果	ブンゴヤ薬局
工藤 修造	工藤調剤薬局
淵野 貴広	安東調剤薬局
多森 直樹	かもめ薬局

製作にかかった期間は、およそ1ヶ月でした。8月中旬の事前ヒアリング、9月上旬に撮影取材を受け、そこから3回の校正を経て、9月27日に校了となりました。今回の校正については、製作メンバーと県薬に加え、取材許可を



頂いた大学病院薬剤部の三者で行いました。

校正では、たくさんのご意見を頂きました。「薬局」と「病院」の仕事をメインテーマに据えていましたので、分かりやすく「薬局」と「病院」をページの左右に分けて表現したいところでしたが、仕事内容として重複してしまう部分も多くなることもあり、今回はあくまでも代表的な薬剤師の仕事という括りでまとめて表現しています。限られた期間での製作ではありましたが、皆様のお陰様をもちまして、なんとかまとめることができました。取材協力をして頂きましたO・P・A薬局の皆さん、並びに大学病院薬剤部の皆さんに深く感謝申し上げます。この本を読む県内の小学生が、一人でも多く将来の夢の選択肢として“薬剤師”をイメージしてくれることを期待しています。

最後に、製作中に出た主な意見とヒアリングシートの回答を記しておきます。今後の参考になれば幸いです。

#### 製作中に出た主な意見

- ・内容を盛り込みすぎると分からなくなり、ぎっしり過ぎると読む気がしない。
- ・薬剤師＝薬のプロという視点で考えた方が小学生に響くのでは。
- ・左右で『薬局』と『病院』それぞれの薬剤師の仕事を分けて表現してみても？主に調剤薬局は外来患者と、病院は入院患者などの層の違いを表現する、同じ薬剤師でも関わり方の違いがある。
- ・患者さんに元気を与える、素敵な笑顔の薬剤師

師を大きく載せる、軟膏を練っているところや医師と真剣に話している顔の薬剤師を載せる。

- ・薬剤師会の説明は入れなくてよいのか？
- ・病院や薬局以外でも薬剤師が幅広く働いていることを紹介するとこどもたちもイメージしやすいのではないか。
- ・こんな人と働いています欄：医師や看護師と働いていることを一緒に出すとイメージが分かりやすいのではないか。
- ・小学生に配布することを考えた場合、学校薬剤師の仕事は入れた方がよいのではないか。学校に配るので学校に薬剤師が関わっていることを周知したい。
- ・新薬開発の項目はあまり重要ではない。災害対策や学校薬剤師などにスポットを当てた方がよい。
- ・薬の発注に焦点を当てるのであれば、在庫管理に向けた方がよい。麻薬や毒薬は鍵のかかる金庫などに入れていること、麻薬は入出庫手続きがいるなど。
- ・薬の説明の欄に、他の薬や食べ物との飲み合わせを確認していることを追記。
- ・投薬後の薬歴管理や副作用などの状況把握後の医師への報告、病態を把握して処方提案や処方変更に関わっていること。
- ・在宅医療やチーム医療を表現してほしい。
- ・点滴調製も、なぜ薬剤師がする薬剤があるのかななどを記載する。



お仕事NO. **30**

みんなの健康を守る「薬のプロフェッショナル」

## 薬剤師（薬局・病院）

この法人に教えてもらっただよ!



薬剤師は、お医者さんが処方した薬を正しく患者さんにわたす「薬のプロフェッショナル」です。薬の量や飲み方をしっかりと確認し、使い方や注意点をわかりやすく伝えます。また、病気を治すだけでなく、食べ物や生活のこともふくめて健康をサポートします。薬の知識はもちろんなので、常に患者さんと看護師さんと協力して、患者さんが安全に薬を使えるよう手助けをします。人の役に立ちたい人に向いている仕事です。



☑️ **CHECK!** 薬局や病院の薬剤師はこんな仕事もしています

**点滴調製**



注射のお薬を針や注射器を使って調整します。お医者さんや看護師さんと患者さんの体調などを話し合いながら、患者さんが受けている点滴の成分や量を調整をすることもあります。

**血中濃度の測定**



病院では、血液の中に入っているお薬の濃度を正確に測定し、その量が適切であるかどうかを判断し、患者さんにとって最適な投与量を決定します。

**薬局の外でも活躍!**



「薬剤師」と聞くと薬局で薬を調剤する姿を思い浮かべられるかもしれませんが、活躍の場はそれだけではありません。病院や自宅にいる患者さんのもとに伺い、薬の効果や副作用が出ていないかなど薬に関するサポートをしています。

☑️ **CHECK!** 薬剤師（薬局・病院）ってどんなお仕事をしているの？

**処方せんの確認**



お医者さんが処方した薬がその患者さんに合っているか、量は適切か、他の薬や食べ物との飲み合わせは安全かなどを確認し、疑問があればお医者さんに問い合わせます。

**お薬をつくる**



処方せんを見て、お薬を正しくそろえます。お薬は似ていることもあるので、まちがえないようには、飲む量や服用の期間にも注意して患者さんにお薬をおわたします。

**お薬の説明**



患者さんがお薬を安全に飲んだり使ったりするために、お薬の効果や飲みかた、副作用について分かりやすく説明し、安心して治療に取り組めるようサポートします。

**チーム医療への参加**



お医者さんと看護師さんと話し合い、よりよい治療を一緒に考えます。薬の専門家としての意見を伝え、患者さんをささげられるように情報を共有しています。

☑️ **CHECK!** こんな人と働いています!

- 医師
- 歯科医師
- 看護師
- 管理栄養士
- ケアマネジャー
- 医薬品卸売会社
- 製薬会社
- 薬局事務スタッフ

☑️ **CHECK!** 地域の健康を守るためのサポートをしています

病院や薬局だけでなく、学校の水や空気を調べて、子供たちが安心してすごせるようにする【学校薬剤師】の他に、検査センターで、温泉や水、食べ物などを調べて皆さんの安全を守ったり、行政（保健所など）で、薬がみんなに安全にとくようにお店や薬局をチェックしている薬剤師もいます。また、災害の現場ではモバイルファーマシー（移動式薬局）を使って活躍しています。他にも、SDGsの取り組みとして大分市と協定を結び、「使用済み注射針」の回収もこなっています。



64 OITA OSHIGOTO BOOK 2025

OITA OSHIGOTO BOOK 2025 65

大分県のおしごと本2025

大分県のおしごと本2025 ヒアリングシート まとめ

Q. 質問	A. 薬局薬剤師	A. 病院薬剤師
1 このお仕事（職種）の具体的な仕事内容を教えてください。	薬剤師は、お医者さんから出された「処方せん」に書かれたお薬を、患者さんに正しくわたす仕事をしています。お薬の量や組み合わせをしっかりと確認し、「どうやって飲むのか」「どんなことに気をつければいいのか」を説明します。また、薬だけでなく「食べものや生活のこと」についてもアドバイスして、みんなの健康を守ります。	病院薬剤師は、患者さんに安全で効果的な薬が使われるように管理する専門職です。処方内容の確認、薬の準備、服薬指導、副作用チェックなどを行い、医師や看護師と協力して治療を支えています。
2 この職種に就いた理由（きっかけ）	「病気で困っている人を助けたい」という気持ちから薬剤師になった人が多いです。小さいころに薬を飲んで元気になった経験から、「薬ってすごい!」と感じたことがきっかけの人もあります。	病院薬剤師を志したのは、幅広い業務を通じて多くの経験を積み、知識や技術を身につけたいと思ったからです。多職種と連携しながら患者さんの治療に貢献できる点にも魅力を感じました。
3 この職種の社会（会社）での役割	薬剤師は薬の専門家として、病院・薬局・学校・保健所など、いろいろな場所で活躍し、地域の人の健康を守っています。病気の治療だけでなく、病気を防ぐための活動も行っています。	病院薬剤師は、医師の処方を確認して安全性を担保し、薬の調製や投与と設計を行います。また患者さんへの服薬指導や副作用の確認を通じて治療を支え、多職種と協力しながら最適な薬物療法を提供する役割を担います。

	Q. 質問	A. 薬局薬剤師	A. 病院薬剤師
4	やりがい(うれしかったことなど)	「先生のおかげで元気になりました！」と患者さんに言ってもらえるときが一番うれしいです。薬を正しく使って病気がよくなったり、患者さんが笑顔になると「薬剤師になってよかった！」と思います。	薬の専門性を活かして患者さんの治療に直接貢献できることです。処方提案や副作用防止などで医療の安全性を高められる点、チーム医療の一員として医師や看護師と協力できる点、さらに新しい知識や技術を学び続け成長できる点が大きな魅力です。
5	職種に就くための必要な資格(なしの場合は、能力や、こんな人が向いています、などあれば教えてください)	薬剤師になるには「薬学部」で6年間勉強して、国家試験に合格する必要があります。理科や算数が好きで、人とお話しするのが好きな人に向いています。	病院薬剤師になるには、まず薬剤師国家資格が必須です。大学の薬学部(6年制)を卒業し、国家試験に合格して薬剤師免許を取得します。さらに病院によっては、実務経験を積んだ後にがん専門薬剤師、感染制御専門薬剤師、認定薬剤師(緩和薬学、栄養、救急など)といった専門・認定資格を取得すると、より高度な医療に携わることができます。
6	先輩などに教えられたこと	「薬は人の体に入るものだから、少しのミスも許されない。だからこそ丁寧に確認することが大切だよ」と教えられました。	闘病している患者さんの様々な心情によりそう重要性について教えられました。
7	これからこの職種に就く人に伝えておきたいこと	薬剤師は「薬をわたすだけの人」ではありません。病気を予防したり、患者さんの生活を支えたり、地域を守る大切な仕事です。	薬の知識だけでなく、人と関わる力がとても重要だということです。患者さんや医療スタッフと信頼関係を築きながら、安全で最適な薬物療法を支えるのが病院薬剤師の役割です。学び続ける姿勢とチームで協力する気持ちを大切にすれば、やりがいの大きな仕事になります。
8	小学5年生に伝えたいこと	薬剤師は、みんなの健康を守る「薬のプロフェッショナル」です。将来「人の役に立つ仕事がしたい！」と思ったら、ぜひ薬剤師を目指してみてくださいね。	病院の薬剤師は、お医者さんが出した薬が本当にその人に合っているかを確認したり、飲み方を分かりやすく教えたりして、患者さんを助けるお仕事です。薬の知識だけでなく、人を思いやる気持ちがとても大切です。
9	職種の仕事内容	<p>①お薬をつくる(調剤)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・処方せんを見て、お薬を正しくそろえます。</li> <li>・ちがう薬とまちがえないように注意します。</li> </ul> <p>②お薬の説明(服薬指導)</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・どうやって飲むのか、どんな注意が必要かを伝えます。</li> <li>・「飲みやすかった?」「体の調子はどう?」と相談もします。</li> </ul> <p>③健康相談</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・食べ物、生活習慣、サプリメントとの飲み合わせなどの相談にのります。</li> <li>・気軽に相談できるのも薬剤師の大事な仕事です。</li> </ul>	<p>①処方せんの確認</p> <p>内容：お医者さんが出した薬が患者さんに合っているか、量や組み合わせが安全かをチェックします。 面白い所：まるで“薬の探偵”のように、間違いや危険を見つけ出して患者さんを守れること。</p> <p>②薬の準備(調剤・注射の作成など)</p> <p>内容：飲み薬や注射薬を正しく用意し、患者さんが安全に使えるように整えます。 面白い所：正確さが求められる“薬の職人”としての腕前を発揮できること。</p>

	Q. 質問	A. 薬局薬剤師	A. 病院薬剤師
9	職種の仕事内容	<p>④地域を守る活動</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・学校や地域で薬や健康のお話をしたり、防災や感染症対策にもかかわります。</li> </ul> <p>⑤薬局でのお薬の安全管理</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・お医者さんから出された処方せんをもとに、お薬を正しくそろえて、安心して使えるようにしています。</li> <li>・薬の種類や量をまちがえないように、何重にもチェックします。</li> </ul> <p>⑥学校や地域でのお薬教室</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・小学校や中学校で「薬の正しい使い方」についてお話をしたり、健康について楽しく学べる授業をしています。</li> <li>・「薬はなんでも飲めばいい」ではないことを伝えるのも大事な仕事です。</li> </ul> <p>⑦防災・感染症対策</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・災害のときに薬をとどけたり、避難所で健康を守る活動をしています。</li> <li>・新しい感染症が広がったときには、正しい情報を伝えて地域を守ります。</li> </ul> <p>⑧薬剤師の学びとサポート</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・薬剤師どうしで勉強会を開き、最新の医療や薬の知識を学んでいます。</li> <li>・いつでもみんなによりよい医療を届けられるようにしています。</li> </ul>	<p>③患者さんへの説明（服薬指導）</p> <p>内容：薬の飲み方や気をつけることを患者さんにわかりやすく伝えます。</p> <p>面白い所：自分の説明で患者さんが安心して薬を使えるようになるところ。</p> <p>④チーム医療への参加</p> <p>内容：医師や看護師と話し合い、よりよい治療を一緒に考えます。</p> <p>面白い所：薬の専門家として意見を出し、チームで患者さんを支えられること。</p>
10	社会への貢献性	<p>薬剤師会は「地域の健康を守るチーム」です。病院や薬局だけでなく、学校や災害の現場など、いろいろな場所で活躍しています。正しい薬の知識を広めることで、安心して暮らせる社会をつくる役割を持っています。</p>	<p>大学病院の薬剤師は、ふつうの病院薬剤師の役割に加えて、次のような形で社会に貢献しています。</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 高度で専門的な薬物療法の実践：難しい病気や重症の患者さんに、安全で効果的な薬の使い方を提案し、治療を支えています。</li> <li>2. 医療の最前線での研究・新薬開発への参加：新しい薬の臨床試験に関わり、将来の治療法を作る一助になっています。</li> <li>3. 教育・人材育成：薬学生や若い薬剤師の実習や研修を受け入れ、次世代の医療者を育てています。</li> <li>4. 地域医療との連携：病院外の薬局や地域の医療機関と協力し、患者さんが退院後も安心して薬を使えるように支援しています。</li> </ol>
11	会社として、SDGs活動などがあれば教えてください	<ul style="list-style-type: none"> <li>・薬をむだにしない工夫をしています。</li> <li>・お年寄りや子どもも安心できる「やさしい医療」をめざしています。</li> <li>・災害時にも薬をとどけられるよう、地域と協力しています。</li> </ul>	

## 豊後大野市薬剤師会 スポーツの日は健康もチェック

軸丸 直美

(おおの調剤薬局 おがた店)

令和7年10月13日（月・祝）に、豊後大野市大原総合体育館にて、下記のイベントを行いました。

### 1. 中学生、高校生と地区で働く薬剤師とのトークセッション（2階談話室）

参加薬剤師（敬称略）

- ①今村彩乃（竹田医師会病院）
- ②吉野杏樹（豊後大野市民病院）
- ③麻生裕規雄（あそう調剤薬局）
- ④島崎省吾（大分県豊肥保健所）

4名の薬剤師のスピーチの後に、中高生の質問への受け答えを行いました。

### 2. 心電図チェック（1階ロビー）

指で測る心電計を用い、心電図のチェックを行いました。

体育館内では、市民の体力測定（医師会、理学療法士、三重総合高校主催）を行っており、測定に見えた方々の心電図チェックができました。チェックされた48名中、2名の方に心電図の異常がみつけましたが、既に病院での治療をうけている方でしたので、治療継続の大切さをお互いに確認しました。

### 3. 総括

地域の医療関係者が集って行うイベントで、職種の垣根を越えた協力ができました。

また、薬剤師においても、各々の職場で働く薬剤師が一堂に会し、力を合わせることができました。これからの業務においても、患者さんへのサービスの向上へつながるはずです。

さらに、これから薬剤師を目指す世代に対しても、よいプレゼンテーションとなりました。

薬剤師として働く毎日は、小さな仕事の積み重ねですが、続けることで、患者さんへ何かお役に立てればと思っています。

そして、薬剤師が集まることで、多くの方々への健康への意識の向上につながることを信じ、これからのイベントもますます盛り上げていきたいものです。



豊後大野市薬剤師会

## 地域薬剤師の育成と活躍に思う

会長 前原 理佳  
(ふるさと薬局)

令和7年10月13日(月・祝)豊後大野市薬剤師会「くすりと健康の週間」のイベントに合わせて、豊肥保健所麻生武志先生、島崎省吾先生のご指導のもと、中学生高校生の皆さまに向けて「コネクト薬剤師@豊肥地区」を開催いたしました。

「薬剤師として働くってどんな感じ？」

給与は？ライフワークバランスは？」

など題材に若手で活躍中の竹田医師会病院薬剤科今村彩乃先生、豊後大野市民病院吉野杏樹先生、あそう調剤薬局麻生裕規雄先生、豊肥保健所島崎省吾先生4名の先生にご登壇いただき、司会進行株式会社薬けん野中牧先生のもと、中学生、高校生そしてご家族、豊後大野市薬剤師会会員と共にセッションいただきました。薬剤師の日常、そして薬剤師になるための勉強法など楽しくアピールでき有意義な時間となりました。大分県の人口10万人あたり薬学部在籍数は全国で41位40.7人の現状ですが、今回参加学生の皆さまに薬剤師への道、薬学部進学への意欲を持っていただけたと感じております。

現在全国の薬剤師数は微増しているものの大分県は人口10万人あたりの薬剤師数全国で31位と全国平均を下回り、さらに薬剤師偏在指数2023年大分県二次医療圏豊肥地域では病院は下から2番目、薬局は最下位の偏在指数であり、たいへん大きな危機感を抱いております。

私たち薬剤師は薬を通して人と関わり地域の健康を守る重要な医療資源であると考えられ、なおかつコメディカル不足の現状において薬剤師の地域偏在は他の職種のものより地域の健康

が損なわれる可能性が高いと思われます。安心安全で健康な生活のためには地域薬剤師の活躍が必要であり、それはそのまま薬剤師の活躍が健康生活を守ると考えられます。

過日第31回大分県薬剤師学術大会特別講演での京都大学大学院岡田浩教授のお話の中にカナダの薬局の役割や薬剤師のお話がありました。現状日本と異なるとしても地域の薬局や薬剤師は最先端でなければならないのではと感じたところであります。

来年度も「コネクト薬剤師@豊肥地区」を引き続き開催でき、地域薬剤師の育成と地域薬剤師の活躍ができますようにと思っております。



大分合同新聞(令和7年10月18日)掲載

## 佐伯市薬剤師会

## 地域における「お薬出前講座」の取り組み

宮明 洋一郎

(宮明薬局)

佐伯市薬剤師会では、地域住民の皆さまに薬の正しい知識をお伝えする活動として、以前より「お薬出前講座」を実施しています。地域の公民館や研修会、高齢者サロンなどに薬剤師が出向き、薬の使い方や医療制度、薬局の役割などについて分かりやすくお伝えする取り組みです。医療機関や薬局を利用する際だけでなく、普段の生活の中で薬とどのように付き合っていくかを考えていただく機会として、地域の皆さまに関心を持っていただいています。

今年に入ってからは、1月に3回、2月に1回の計4回の出前講座を開催しました。主に依頼をいただくのは社会福祉協議会主催の研修会や高齢者サロンなどで、地域で活動されている方々が参加される場が中心です。私が担当した講座では、社会福祉協議会主催の有料ボランティアの方々を対象とした研修会と、「さいきの茶の間運営事業代表交流会」にて講演を行いました。日頃から地域活動を支えておられる方々に、薬の知識や薬剤師の役割をお伝えできる貴重な機会となりました。

講座では「くすりのホント～正しく、安全にくすり付き合うために～」というテーマでお話ししました。まず、薬の役割について、薬は症状を一時的に抑える対症療法の側面を持つ一方で、人が本来持つ自然治癒力を高めていくことも健康維持には重要であることをお伝えしました。薬だけに頼るのではなく、生活習慣や体調管理も含めて健康を考えることが大切であるという視点を共有することを意識しています。

その上で、薬を服用する際の基本的なポイントとして、飲み薬は常温の水で服用すること、飲み忘れた場合の対応、点眼薬の正しい使い方など、日常生活の中で実践できる具体的な内容をクイズ形式も交えながら解説しました。クイズ形式にすることで、参加者の皆さまにも楽しみながら学んでいただくことができ、講座の雰囲気も和やかなものとなりました。

また、ジェネリック医薬品の仕組みや日本の医療費の現状についても紹介しました。日本では高齢化の進展に伴い国民医療費が増加して

り、医療を持続可能なものとしていくためにはジェネリック医薬品の活用や薬の適正使用が重要になります。ジェネリック医薬品は「安かろう悪かろう」ではなく、安全性と有効性が確認された医薬品であることを説明し、医療費全体の視点からも理解を深めていただきました。

さらに、残薬問題やポリファーマシーについても触れました。飲み忘れや自己判断による服用中断、処方重複などにより薬が余ってしまうことは少なくありません。こうした残薬は医療費の面だけでなく、服薬管理の面でも課題となります。薬剤師に相談することで残薬調整や服用方法の見直しなどが可能であることを説明し、薬剤師を身近な相談相手として活用していただくことの重要性をお伝えしました。また、お薬手帳の活用や在宅訪問による服薬支援など、地域医療の中で薬剤師が担う役割についても紹介しました。

講座後には参加者の方々から多くの質問やご意見をいただきました。「薬が残っているが、なかなか先生に言い出せない」「薬をたくさん飲んでいるが大丈夫だろうか」といった服薬に関する不安の声のほか、「薬局でこんなことをしているとは知らなかった」「薬との付き合い方を見直すきっかけになった」といった感想も寄せられました。また、主催者側のスタッフの方々からも「非常に勉強になった」との評価をいただき、地域の中で薬剤師が情報発信を行うことの意義を改めて感じる機会となりました。

医療の専門職である薬剤師が地域に出向き、直接住民の方々とは対話する機会は決して多くありません。しかし、このような出前講座を通じて顔の見える関係が生まれることで、薬局をより身近な相談の場として感じていただけるのではないかと感じています。

今後も佐伯市薬剤師会では、地域に根差した薬局、そして気軽に相談できる「顔見知りの薬剤師」を目指し、地域との関係づくりの一助としてお薬出前講座の活動を継続していきたくと考えています。

# 検査センター だより

## Contents

2026年4月

水道水質基準の改訂について

～令和8年4月1日より水質基準項目にPFOS及びPFOAが追加されます～

2025年度外部精度管理調査の結果について

温泉のサンプリング業務 ～噴気泉～

TEL 097-544-4400 FAX 097-546-8190

URL <https://www.oitakensa.jp/>

E-mail [soumu@oitakensa.jp](mailto:soumu@oitakensa.jp)

## 水道水質基準の改訂について

～令和8年4月1日より水質基準項目にPFOS及びPFOAが追加されます～

令和7年6月30日付けで「水質基準に関する省令の一部を改正する省令」（令和7年環境省告示第19号）及び「水道法施行規則の一部を改正する省令」（令和7年環境省告示第20号）が改正されました。これにより、これまで水質目標管理設定項目であったPFOS及びPFOAが水道水質基準に引き上げられることとなり、水質基準項目は全部で51項目から52項目に増え、令和8年4月1日から施行されます。

PFOS及びPFOAの水質基準値はPFOS及びPFOAの合算値で50ng/L（0.00005mg/L）です。検査頻度は原則3か月に1回ですが、PFOS及びPFOAの過去の検出状況や水道の種別により検査頻度が変わることもあります。



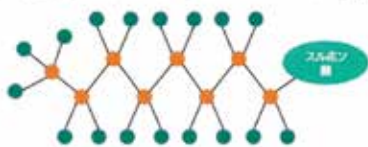
ABSCIEX社製 LC/MS/MS

当検査センターでは、目的物質に対して非常に高い選択性を持ち、かつ高感度分析が可能なLC/MS/MS（液体クロマトグラフ質量分析計）を用いてPFOS及びPFOAの分析を行っています。従来も目標管理設定項目のPFOS及びPFOAの検査を行っていましたが、水質基準への引き上げに伴い、新たにLC/MS/MSを追加導入し、検査体制を整えています。

### PFASについて

PFASは炭素とフッ素が結合した分子構造をもつ有機フッ素化合物のうち、ペルフルオロアルキル化合物及びポリフルオロアルキル化合物の総称で、約10,000種類以上あると言われています。泡消火剤、金属メッキ、織物、洗剤、コーティング等あらゆる用途に使用されてきましたが、難分解性で高蓄積性及び長期移動性を有する化学物質であること等から、我が国ではPFASのなかでもPFOS、PFOA、PFHxSの3種類が第一種特定化学物質に指定されており、製造及び輸入が原則禁止されています。

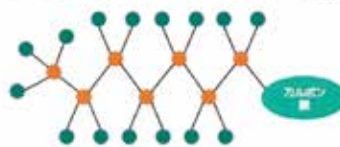
#### PFOS(ペルフルオロオクタンスルホン酸)



● 炭素原子

● フッ素原子

#### PFOA(ペルフルオロオクタン酸)



● スルホン酸、カルボン酸等

##### 主な用途

半導体用反射防止剤・レジスト、  
金属メッキ処理剤、泡消火薬剤 等

##### 主な用途

フッ素ポリマー加工助剤  
界面活性剤 等

(環境省HPより抜粋)

当検査センターでは水質基準項目であるPFOS、PFOAのほか、PFHxSについても分析が可能です。検査を検討されている方はお気軽にお問合せ下さい。

# 2025年度外部精度管理調査の結果について

当センターでは、各種検査の信頼性確保と検査技術の向上を目的として、毎年様々な外部精度管理調査に参加しています。今回は2025年度に参加した精度管理調査の結果概要について報告します。

## 評価方法について

理化学検査については、評価基準としてzスコアが採用されています。これは、各データのばらつき度合いを算出するために考案された統計量のことで、zスコアの絶対値が2以内であれば、良好と評価されます。なお、厚生労働省の水質検査においては報告値の誤差率が範囲内であること、及び検査の実施体制に疑義がないことが良好と評価されます。

### ①水質（水道法第20条機関）

主催者	実施月	測定項目		添加濃度	参加機関の中央値	当センター報告値	誤差率※1	zスコア	参加機関の分類※2
環境省	6	無機物1	塩化物イオン	24.0 (mg/L)	23.8 (mg/L)	23.7 (mg/L)	-0.4 (%)	-0.13	第一群
		無機物2	塩化物イオン	66.0 (mg/L)	65.8 (mg/L)	66.0 (mg/L)	0.4 (%)	0.11	第一群
		有機物	シス-1,2-ジクロロエチレン	6.50 (mg/L)	6.30 (μg/L)	5.88 (μg/L)	-6.7 (%)	-1.00	第一群
		有機物	トランス-1,2-ジクロロエチレン	9.00 (mg/L)	8.55 (μg/L)	7.50 (μg/L)	-12.3 (%)	-1.84	第一群

※1 誤差率が無機物試料で中央値±10%の範囲内、有機物試料で中央値±20%の範囲内に入っている。

※2 参加機関の分類とは、外部精度管理調査に参加した機関に対して、統一試料の測定結果と検査方法告示の遵守状況等も踏まえて「第一群」、「第二群」、「要改善」の3群に分類される。「第一群」とは統一試料の測定精度が統計分析で良好と判定され、かつ水質検査の実施体制に疑義がないと判断された機関を示す。

主催者	実施月	試料	測定項目	参加機関の平均値	当センター報告値	zスコア
一般社団法人 全国給水衛生 検査協会 (速報値)	10~11	No.1	亜鉛	0.050 (mg/L)	0.050 (mg/L)	0.000
		No.2	亜鉛	0.070 (mg/L)	0.070 (mg/L)	0.000
		No.3	ジェオスミン	0.0046 (μg/L)	0.0046 (μg/L)	0.000
		No.3	2-メチル イソボルネオール	0.0046 (μg/L)	0.0045 (μg/L)	0.000
		No.4	ジェオスミン	0.0028 (μg/L)	0.0027 (μg/L)	-0.536
		No.4	2-メチル イソボルネオール	0.0029 (μg/L)	0.0028 (μg/L)	-0.517

②簡易専用水道（水道法第34条機関）

主催者	実施月	測定項目	参加機関の平均点	当センター総得点	合否
一般社団法人 全国給水衛生 検査協会	11	現場検査	98.64	100	合格 (評価：S)

③食品：理化学調査

主催者	実施月	測定項目	設定値 (単位)	全体の 平均値 (単位)	当センター 報告値 (単位)	zスコア	
(一財) 食品薬品安全 センター 秦野研究所	7	食品添加物 (ソルビン酸)	0.45 (g/kg)	0.426 (g/kg)	0.420 (g/kg)	-0.32	
	9	残留農薬（6種中3種：定量）					
		クロルピリホス	0.13 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.117 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.118 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.06	
		フルトラニル	0.050 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.0474 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.0508 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.44	
		マラチオン	0.40 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.360 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.372 ( $\mu\text{g/g}$ )	0.22	
アトラジン、ダイアジノン、チオベンカルブ：検出されない							

主催者	実施月	測定項目	設定（添加色素）	報告（検出色素）
(一財) 食品薬品安全 センター 秦野研究所	10	食品添加物検査 I (着色料・定性)	食用赤色 3号 食用黄色 4号 食用緑色 3号	食用赤色 3号 食用黄色 4号 食用緑色 3号

**食品：微生物学調査**

主催者	実施月	測定項目	設定（正答）	報告
（一財）食品薬品安全センター 秦野研究所	6	E.coli	No.1：陽性 No.2：陰性	No.1：陽性 No.2：陰性
	10	サルモネラ属菌	No.1：陰性 No.2：陽性	No.1：陰性 No.2：陽性

主催者	実施月	測定項目	設定値 (/mL) ※1	全体の平均値 (/mL)	当センター報告値 (/mL)	zスコア (平均)
（一財）食品薬品安全センター 秦野研究所	7	一般細菌数	—	136,580	141,000	0.10

※1 設定値については3月時点で資料が届いておらず不明なため未記載。

**④計量**

主催者	実施月	測定項目	設定値 ※1	参加機関の中央値 ※1	当センター報告値	zスコア ※1
（一社）日本環境測定分析協会	5	電気伝導率	140 (mS/m)	140.0 (mS/m)	140 (mS/m)	0.00
	7	フェノール	14.5 (mg/L)	14.2 (mg/L)	14.0 (mg/L)	-0.39
環境省 (中間報告)	7	BOD	—	—	214 (mg/L)	—
	7	COD	—	—	182 (mg/L)	—

※1 環境省の結果において、設定値、中央値、zスコアについては3月時点で資料が届いておらず不明なため未記載。

**⑤アスベスト**

主催者	実施月	評価区分	試料	報告値	合否判定結果
（公社）日本作業環境測定協会	6	評価区分1 (JIS A 1481-1 による方法)	建材① (桃③-1417) 建材② (黒③-1417) 建材③ (橙③-1417)	クリソタイル含有 アモサイト含有 含有無し	合格
		評価区分3 (JIS A 1481-2及び JIS A 1481-3 による方法)	建材① (赤①-3042) 建材② (黒①-3042) 建材③ (灰①-3042) 建材④ (青②-3128) 建材⑤ (橙②-3128) 建材⑥ (緑②-3128)	クリソタイル含有：0.52% アモサイト含有：0.42% 含有無し クリソタイル含有：0.52% アモサイト含有：0.45% 含有無し	合格 (Aランク)

各項目の結果は上記のとおりで、全て良好な結果でした。今後も正確な検査結果を提供できるよう、検査精度の維持向上に努めていきます。

## 温泉のサンプリング業務 ～噴気泉～

温泉の成分分析業務について、さまざまな種類の温泉をサンプリングしていますが、その中でも例の少ない「噴気泉」について紹介します。

### はじめに

温泉と聞くと温水をイメージすると思います。実際、当検査センターへの分析のご依頼のほとんどはイメージ通りの「地下から湧き出てきた温水」の検査となりますが、温泉の定義や利用を取りまとめる温泉法には、以下のように温泉を定義しています。

“この法律で「温泉」とは、地中からゆう出する温水、鉱水及び水蒸気その他のガス（炭化水素を主成分とする天然ガスを除く。）で、別表に掲げる温度又は物質を有するものをいう。”

——温泉法第二条第一項

別表

1. 温度(源泉から採取されるとき温度)摂氏 25 度以上
2. 物質(下記に掲げるもののうち、いずれかひとつ)

物質名	含有量(1 kg 中)
	mg 以上
溶存物質(ガス性のものを除く)	総量 1 000
遊離二酸化炭素(CO <sub>2</sub> ) (遊離炭酸)	250
リチウムイオン(Li <sup>+</sup> )	1
ストロンチウムイオン(Sr <sup>2+</sup> )	10
バリウムイオン(Ba <sup>2+</sup> )	5
総鉄イオン(Fe <sup>2+</sup> +Fe <sup>3+</sup> )	10
マンガン(II)イオン(Mn <sup>2+</sup> ) (第一マンガンイオン)	10
水素イオン(H <sup>+</sup> )	1
臭化物イオン(Br <sup>-</sup> )	5
よう化物イオン(I <sup>-</sup> )	1
ふっ化物イオン(F <sup>-</sup> )	2
ひ酸水素イオン(HAsO <sub>4</sub> <sup>2-</sup> ) (ヒドロひ酸イオン)	1.3
メタ亜ひ酸(HAsO <sub>2</sub> )	1
総硫黄(S) [HS <sup>-</sup> +S <sub>2</sub> O <sub>3</sub> <sup>2-</sup> +H <sub>2</sub> S に対応するもの]	1
メタほう酸(HBO <sub>2</sub> )	5
メタけい酸(H <sub>2</sub> SiO <sub>3</sub> )	50
炭酸水素ナトリウム(NaHCO <sub>3</sub> ) (重炭酸そうだ)	340
ラドン(Rn)	20×10 <sup>-10</sup> Ci=74 Bq 以上 (5.5 マッヘ単位以上)
ラジウム塩(Ra として)	1×10 <sup>-8</sup> mg 以上

——鉱泉分析指針より一部抜粋

今回紹介する「噴気泉」も、100°C以上の水蒸気がメインとなりますので、別表にある 1. 温度 を満たし、温泉の仲間となります。

## サンプリングの実際

現場で、どのようにサンプリングを行なっているかを紹介します。

### 【1】サンプリング装置の設営

噴気泉そのものをサンプリングする場合、水蒸気（気体）となっている温泉を、冷却することで凝縮させ、水（液体）の状態にする必要があります。まず、噴気泉を管理している既設設備に、サンプリング用の配管を繋げます。続いて、サンプリング配管の末端に冷却装置を取り付けます。最後に、サンプリング配管内にしっかり噴気が通り、冷却装置が正常に運転することを確認します。

これで、水の状態としてのサンプリングが可能となります。



設営作業風景。  
二本の既設配管からは、  
絶えず噴気が吹き続けている。

### 【2】噴気泉のサンプリング・現地分析

冷却装置から得られる凝縮後の噴気泉が、安定して流出することを確認した上で、実際にサンプリングを行なっていきます。pHや（重）炭酸イオン等の現地分析を実施しつつ、当センターに持ち帰って試験室分析をするために必要な量の噴気泉を採取します。

冷却に必要な水は、現地で確保が可能かを事前に確認し、使用量に気を付けてサンプリングします。



サンプリング中の様子。  
左側作業員の足元には、  
噴気泉を持ち帰るための容器が準備されている。

### 【3】サンプリング装置の解体、試験室分析

サンプリング終了後、装置の解体・現場の片付けに入ります。現場の立会者とともにサンプリング地点の復旧を確認した上で、現地より撤収・試料を持ち帰り分析を行ないます。



試験室分析中の試料。  
（一部画像内加工有）